

腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術を受ける患者様へ

入院から退院までの予定

状況により予定が変更されることがあります。
分からないことがありましたらご遠慮なくご相談ください。

様

主治医

担当看護師

	月 日	月 日（手術当日）		月 日	月 日
	手術前日(入院前)	術前(入院後)	術後	第1病日	第2病日
治療・処置		血圧を測ります 手術前に弾性ストッキングを履きます 術野の剃毛を行います おへそのゴマを掃除します	酸素吸入を行います 心電図をつけます 血圧を定期的に測ります 指先に酸素の量をはかるセンサーが付きます 鎮痛剤は注射を使います	心電図を外します 回診で創部の観察をします。 尿の管を抜きます 血圧を定期的に測ります (回数は減ります)	
点滴・注射		点滴を始めます 手術室で抗菌薬の点滴をします	術後3時間で酸素を外します 点滴を持続的に行います 抗菌薬の点滴を行います	食事が十分に食べられれば点滴は終了します	
内服	許可された薬だけ少量の水で内服してください	内服しているお薬がありましたら、お薬手帳と一緒に看護師にお渡ください	内服はありません	内服可能となれば鎮痛剤は飲み薬となります 持参薬は医師の指示に従って内服を開始します	
検査			手術室で、手術後にレントゲン写真を撮ります		
食事・栄養	普段通り食事をとってください 21時以降、食事できません	朝から食事はできません (うがいはできます) 6時まで飲水は可能です (午後手術 10時まで飲水可能)	手術日は食事はありません 手術終了から3時間経てば飲水は可能です	朝から食事を開始します	
活動	制限はありません		手術後数時間はベッド上ですごします 尿の管が入っています 3時間後から歩行が開始となります 初回は看護師と一緒に歩きます	尿の管を抜き、トイレで排泄します (おしっこがでたら看護師へ伝えてください)	
清潔	入浴をしてください 爪切りもすませて下さい				
説明		入院生活・手術について説明します 手術時の持ち物の説明をします	入浴はできません 歯磨き・洗面はできます	退院の手続き、退院後の療養を説明します	
経過・目標		手術の説明を聞き準備をします	ベッド上で安静に過ごします 痛みが強ければ鎮痛剤を使用できます	痛みが強ければ鎮痛剤を使用できます 退院できるようになります	痛みが強ければ鎮痛剤を使用できます 退院できるようになります

磐田市立総合病院
tel 0538-38-5000(代表)